Panasonic

取扱説明書

インテグレーテッドCD・MD・DSPレシーバー

品　番　**CQ-MC3001D**

MDLP

ご使用の前に、本書の「安全上のご注意」（4 ～ 7ページ）を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 保証書は、お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
- 取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

Panasonic インテグレーテッドCD・MD・DSPレシーバー CQ-MC3001D 取扱説明書

特 長

■ 2DINにCDプレーヤー・MDプレーヤー・FM/AMチューナー、高音質50 W×4 ch パワーアンプを搭載

■ CD-R/RWディスク対応　※MP3、WMA、CDテキストには対応していません。

「CD-R/RWディスクのご使用について」(☞26ページ) をよくお読みください。

■ MDLP（ロングプレイ)、MDグループ機能に対応
- 異なった録音モード（2倍長・4倍長・標準）の曲が混在しているディスクを再生できます。グループ機能にも対応しているので、聞きたい曲（グループ）をスピーディに選べます。

■ MDタイトル表示対応
- MDディスク名・グループ名（グループ登録されている場合）・曲名を表示できます。

■ 交通情報などをボタン一つで受信できる、ダイレクトメモリー（D·M）機能を搭載 (☞20ページ)
- 電源が切れているときでも、どのモードからでも、ボタン一つで交通情報を受信できます。また、お好きな放送局を記憶させることができます。

■ 多彩なサウンドコントロール機能を搭載（DSP）(☞21ページ)
- ６種類の音場機能で、実際に演奏会場にいるような臨場感を車室内に演出できます。

■ イルミネーションカラー機能を搭載 (☞24ページ)
- ボタン照明色が緑色と橙色の2色から選べます。

■ システムアップ用端子を装備
- AUX FRONT（前面の外部音声入力）
  お手持ちのポータブルオーディオプレーヤー（MP3、WMAなど）を接続し、音声を聞くことができます。(☞19ページ)
- AUX REAR（後面の外部音声入力）
  別売のナビゲーション、テレビなどを接続し、ステレオ音声などを聞くことができます。(☞19、35ページ)
  ※後面への接続は、本機取り付けの際に行ってください。
- プリアウト出力端子（REAR)
  別売の外部アンプを接続できます。(☞35ページ)

もくじ

特 長 2
安全上のご注意 4
使用上のお願い 7
各部のなまえとはたらき 8
- 時計を調整する

使　う

基本操作 10
- 電源を入れる/切る
- 音源(ソース)を切り替える
- 音量を調整する
- 一時的に音量を下げる
- 表示を切り替える

ラジオを聞く 12
CDを聞く 14
MDを聞く 16
他の機器の音声を聞く 19
- AUX FRONT
- AUX REAR

ダイレクトメモリーを使う（D·M） 20
音場を設定する（DSP） 21

音質の設定と調整（音質調整）....................22
- 音量を調整する
- 低音域のレベルを調整する
- 高音域のレベルを調整する
- 左右のスピーカーの音量バランスを調整する
- 前後のスピーカーの音量バランスを調整する

各種の設定と調整（システム設定）....................24
- レベルメーター表示を切り替える
- MUTEボタンを押したときの音量の下がりかたを選ぶ
- 表示のめりはりを調整する
- ボタンの照明色を選ぶ
- AUX FRONTのON/OFFを設定する
- AUX REARのON/OFFを設定する

必要なときに

ディスクの取り扱い/お手入れのしかた 26
故障かな!? 28
取り付け・配線の前に 32
取り付けかた 33
配線のしかた 34
保証とアフターサービスについて 36
仕様 38

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

DC12 V⊖アース車で使用する

本機はDC12 V⊖アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。
火災や故障の原因になります。

指定に従って配線・取り付けをする

説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの⊖端子をはずす

バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

⚠ 警告

配線・取り付けに関するご注意

取り付け・配線などに保安部品を絶対に使わない

車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

ご使用に関するご注意

運転者は走行中に操作をしない また、表示を注視しない

走行中の操作や表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

必ず規定容量のヒューズを使用する また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

万一、故障（表示が出ない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

ご使用に関するご注意

機器内部に水や異物を入れない

禁　止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。

大きな音量で使用しない

禁　止

車外の音が聞こえない状態での運転は、交通事故の原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けに関するご注意

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する

配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず付属品や指定の部品を使用する

指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない

禁　止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

コードを破損しない

禁　止

傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる､熱器具へ近づける､車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

⚠ 注意

ご使用に関するご注意

車載用以外には使用しない

禁　止

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

ディスク挿入口に手や指を入れない

禁　止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に、乳幼児にご注意ください。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください。

- エンジンを止めた状態で長時間使用すると、バッテリーが消耗します。

他の機器と接続する場合は…

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は…

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。
できるだけ本機から離してご使用ください。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品に添付の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

各部のなまえとはたらき

時計を調整する

❶ DISP を2秒以上押す

● 「時」の表示が点滅します。

FM1　0:00
時　分

❷ ⏭ または ⏮ を押して、「時」を調整する

FM1　22:00

● ボタンを押し続けると、数値が連続して変化します。

❸ DISP を押す

● 「分」の表示が点滅します。

FM1　22:00

❹ ⏭ または ⏮ を押して、「分」を調整する

FM1　22:34

● ボタンを押し続けると、数値が連続して変化します。

❺ DISP で決定する

● 秒が0になり、時計が動き出します。

お知らせ

● 電源が入っていないときは調整できません。（☞10ページ）
● 時計は24時間表示です。
● 未調整のときは、ADJUST と表示されます。